

市民と議会との対話集会報告書

平成30年9月6日
観光建設水道委員会

1. 対話相手方

学校法人立命館 立命館アジア太平洋大学 学生

2. テーマ

「別府市での生活について～定住に向けて～」

3. 場所及び日時

場所：立命館アジア太平洋大学

日時：平成30年7月11日（水）14時15分～15時45分

4. 内容

参加者が4つの班に分かれ、ワークショップ形式にて対話を行った。

対話の中で、様々な課題、意見及び対策が出された。主な内容は、下記のとおり。

《課題》	《意見・対策》
●各班共通の課題	
・交通等の利便性が悪い	} ・運行数増、運賃を安く等、議会から行政を通じてバス会社へ
・バス等の運賃が高い	
・映画館等の娯楽施設がない	
・学生が楽しめるようなイベントがない	
・将来働きたいと思えるような企業がない	
●その他の課題	
・Wi-fiが繋がりにくい	⇒ ・電波の改善、自動販売機をWi-fiの拠点に
・契約書等が日本語表記のみ多言語に対応を	⇒ ・APUと共同で英語表記を作成、英語研修を実施

5. 所感

4班に分かれて、ワークショップを行いました。どの班も街をよくすることは、自分を含め、みんなの生活の不便さが少なくなり、多様な人々のニーズを考えることが、街づくりの基本になると感じる対話集会となりました。

具体的には、City Wi-Fi機能の充実と、公共交通であるバスとして移動機能の未熟さと不便さに、共通の問題点が見出されました。

また、APUを卒業した後には、自国と日本の間でのビジネス展開を考えている学生も居り、参加された学生のみなさん自身が、別府市を身近なものとして捉え参加されていたことに、実施した成果を感じることができました。

ICE BREAKなどで、最初に親睦を図る時間の余裕はありませんでしたが、双方にとっての有意義な意見交換であり、気づき学びの機会を得ることができました。

わたしたち議員は、この学びを大切に、市民のためになる議会の運営に努めていくことができます。

対話集会に関わられたみなさんに、感謝いたします。